

「匠の技 伝承」講習会標準テキスト 会員に無料配布を準備

日整登録柔道整復師へも

日整は11月25日(金)、午後1時から令和4年度の第5回理事会を日整会館で開催し、令和5年度の日整学術大会の日程等を決めた。日程表は2面。

主な報告事項として、昨年度から日整が「匠の技 伝承」10年プロジェクト事業で指導者育成を目的に講習した骨折と脱臼の徒手整復および固定法を、標準テキストにして会員と日整登録柔道整復師に無料配布する準備を進めている、と森川伸治学術教育部長から説明があった。

これは徒手整復技術の全国標準化(日整水準の確立)を目指し、後世に伝えていくために必要不可欠なもの。特に骨折や

令和5年度 日整学術大会の日程等決まる

理事会

脱臼の施術経験が少ない若い会員に対する啓発にもつながる。

少年柔道形競技会 47チームに拡大

令和5年度の柔道大会の在り方についても審議。この件は各都道府県柔道整復師会に対し、会員の柔道大会や少年柔道形競技会等の開催に関わるアンケート調査を10月に実施した、との報告が竹藤敏夫事業部長からあった。

その結果、少年の形の出場枠を30チームから47チームに拡大することについては、公益事業の観点から都道府県のほとんどが賛成であったことを踏まえて決を採り、各都道府県から1チームずつ

日整

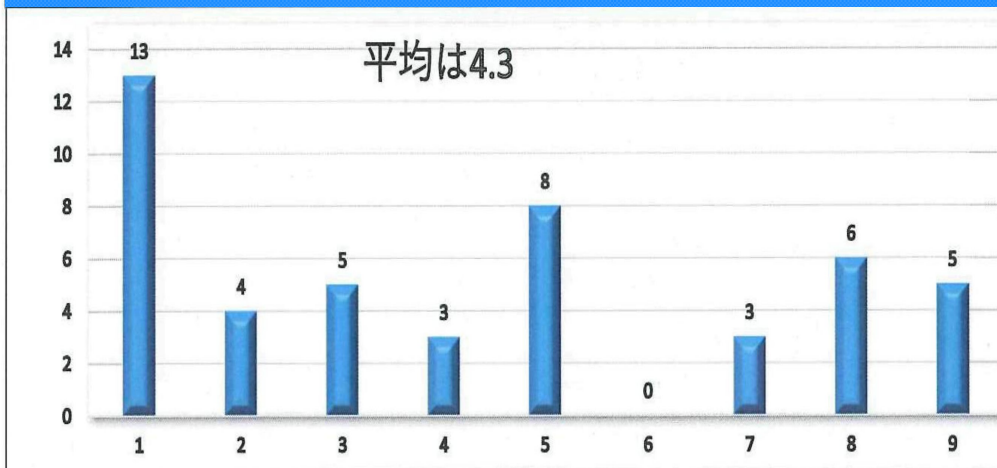
トピック

発行
公益社団法人
日本柔道整復師会
発行人 伊藤述史
編集人 山崎邦生

令和5年度日整全国柔道大会に関する調査について

(2022/10/31日回答締切)

日整全国柔道大会(会員の大会)の今後の開催に係る意見について1~9のうち、数が、小さければ小さいほど開催を中止・見送る方向の見解、大きければ大きいほどは開催を継続する方向の見解。



← 開催を見送ってほしい

→ 開催を継続してほしい

出場することを全会一致で決定した。

会員の柔道大会は見送る方向で一致

左記の棒グラフ、横軸の1から9の数字は、数が小さければ小さいほど

開催を中止、または見送るという意見。数が大きければ大きいほど開催を希望する意見。結果としてコロナ禍等において予選会を実施することが難しいなど、開催には否定的な意見が多かった。一

方、歴史的な経緯の観点から復活を希望する意見も一定数寄せられた。こうした意見を踏まえて理事会では令和5年度についても会員の大会を見送る方向で意見の一致をみた。

令和5年度 学術大会(11地区)

令和4年11月25日理事会決定

	地区	担当	開催地	開催日
1	北海道	北海道	北海道柔道整復専門学校	7月23日(日)
2	東北	青森県	アートホテル弘前シティー	9月2・3日(土・日)
3	関東	神奈川県	カルッツかわさき	令和6年3月3日(日)
4	東京	東京都	帝京平成大学 (池袋キャンパス)	9月10日(日)
5	北信越	新潟県	ANAクラウンプラザホテル新潟	6月17・18日(土・日)
6	東海	三重県	アストプラザ	10月28日(土)・29日(日)
7	近畿	奈良県	奈良県社会福祉総合センター	10月28日(土)・29日(日)
8	大阪	大阪府	大阪柔整会館 ※オンライン開催 (ハイブリッド形式)	9月30日(土)・10月1日(日)
9	中国	岡山県	開会式 ANAクラウンプラザホテル岡山 翌日 朝日医療大学校	8月5日(土)・6日(日)
10	四国	徳島県	開会式 ザ・グランドパレス徳島 翌日 シビックセンター	7月16・17日(日・月)
11	九州	福岡県	ホテルニューオータニ博多	7月8・9日(土・日)